

文芸作品集「ひこね文芸」第43号 刊行

「ひこね文芸」は、皆さんの文芸活動の成果を募り、彦根市唯一の文芸総合誌として、彦根文芸協会が年1回刊行してまいりましたが、今年は第43号を刊行することになりました。例年通り、下記要項により、作品を募集いたします。作風、流派、結社などにこだわらず、既に作家として認められている方も、これから始めてみようと思える方も、作品発表の場として、多くの方々のご参加を歓迎いたします。コンテストではなく、原則として応募いただいた作品はすべて掲載されます。

「ひこね文芸」の内容の充実と向上を図るために、自由で個性豊かな、新鮮な作品の登場を期待します。

1. 応募資格

彦根市、もしくは、その周辺に居住する文芸愛好家、または、市内の文芸団体に所属する方。

○ 短 歌	1 人 3 首	題は自由	} 必ず別紙応募用紙をご使用ください
○ 俳 句	1 人 5 句	題は自由	
○ 川 柳	1 人 5 句	題は自由	
○ 冠 句	1 人 5 句	(各題合わせて)	

	題	「散歩道」	「友が来る」	「指の先」
○ 詩		1人1篇	題は自由	400字原稿用紙（縦書き）2枚以内
○ 随筆・評論		1人1篇	題は自由	400字原稿用紙（縦書き）3枚～5枚以内
○ 小 説		1人1篇	題は自由	<u>400字原稿用紙（縦書き）5枚～7枚以内</u>

印字の場合は、A4用紙を用いて〈随筆・評論 30文字×66行〉
 〈小説 30文字×93行〉以内を厳守願います

○応募用紙には、**A**（短歌・俳句・川柳・冠句部門）と**B**（詩・随筆・評論・小説部門）があります。それぞれの部門の応募用紙に記入してください。

○複数部門に応募の際は、部門ごとに用紙を改めてください。

○作品中に挿入文・資料のある場合は、該当部分をコピーし、添付してください。また、参考文献・出典名も文末に記載してください。

○個人情報に関する項は、文集の作成・配布以外には使用いたしません。作品処理が終わりましたら廃棄します。なお、作品の新聞紙上等への転載を望まれない方は、応募用紙の欄に明示してください。

○会費は、投稿料および「ひこね文芸」誌代を合わせて、1部門につき、次のとおりとします。

- ◇ 短歌・俳句・川柳・冠句部門……1,000円
- ◇ 詩部門……1,200円
- ◇ 随筆・評論・小説部門……1,500円

○送料は、1部門につき300円とします。(切手も可)

○複数部門に応募される場合は、部門数合計分を申し受けます。

○会費および投稿料・郵送料は、応募作品と一緒に到着するようお送りください。

郵便小為替が便利です。手数料は本人負担となります。

※昨年度より送料が300円に変更になりましたので、ご注意ください。

きりとりりせん

作品記入についてお願い

- ① 本紙は、このままだを印刷原稿にしますので、楷書ではつきりと記入してください。
- ② できるだけ常用漢字およびその字体で記入してください。
- ③ 使用した仮名遣いを該当欄に○印をしてください。
- ④ 黒色ボールペンで記入してください。鉛筆、万年筆、筆などは用いなくてください。
- ⑤ 封筒のおもてに必ず部門名を朱書してください。

冊子受取方法（□に✓をいれてください。）

- 発表会場で受け取る
- 図書館で受け取る（11月末日まで）
- 郵送希望（郵送料三〇〇円を同封してください）

作 品					仮 名 遣 い		部 門		
短歌：3首 俳句：5句 川柳：5句 冠句：5句					新 旧		(該当する部門名を○で囲む)		
						冠句	川柳	俳句	短歌
						住所		氏名 (本名)	ふりがな
						〒		必ず記入してください	
						—		雅名 (ペンネーム) にて掲載希望の方のみ記入してください	
					電話番号 (市外局番)				
					—				
					注)希望されない方は該当の部分に○印をつけてください。				
					() 添削不可 (明らかな誤記等は訂正します)				
					() 転載不可 (新聞等への)				

「ひこね文芸」第43号 応募用紙 B

（ 詩・随筆・評論・小説用 ）

作品に添付してください

応 募 部 門	詩 随筆 評論 小説 (○で囲む)
氏 名	ペンネーム()
住 所	〒
電 話	
冊子の受取方法 □に✓してください	☐ 発表会場で受け取る
	☐ 図書館で受け取る（11月末日まで）
	☐ 郵送希望(郵送料300円を同封してください)
添 削 ・ 転 載	☐ 添削不可 ☐ 転載不可

彦根文芸協会 役員（理事）

短 歌	河分 武士(代表・文化連盟)	森 典子	西山 安子
	日下 英治		
俳 句	北川 則子(副会長・子ども文芸・編集)	堀田 民(代表)	
	林 尚子	北村 浩子	小早川悦子
川 柳	森口ゆめみ(代表・子ども文芸)	浅井 利行(監事)	重森 恒雄
	島田 洋子	清水 容子	
冠 句	西山 肇(代表)	小 島 良 一	
詩	やまかみまさよ(代表・監事)	谷口 明美(子ども文芸)	
	尾崎与里子	西村 和野	
随筆・評論	成宮恵津子(代表)	成宮 為夫	山口 正明
小 説	山口 一(会長・編集)	藤本 弘子(代表・会計)	
参 与	久保田雄介(彦根市立図書館)		

■問い合わせ先

このことについてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

☎ 090-9250-7328

彦根文芸協会 会長 山 口 一

5. 「ひこね文芸」第43号の配布

「ひこね文芸」第43号は、応募者全員に、「ひこね文芸」発表会（下部参照）にて配布いたします。
郵送を希望される場合は、1部門につき送料300円(切手可)を会費と一緒にお送りください。
(それ以後は、10月22日(水)から11月末日までの間、市立図書館受付にてお渡しいたします。)

6. 応募締切

令和 7 年 7 月 14日(月) 当日消印有効

7. 作品および会費の送り先

〒522-0001 彦根市尾末町8－1 彦根市立図書館内 彦根文芸協会
または、各部門の理事(下記役員名簿参照)。ただし、理事宛の場合は手渡しに限ります。

8. その他

- 応募作品は既発表の有無を問いません。
- 応募作品に対して、役員により、誤字等を訂正したり、不掲載とする場合があります。添削を希望されない方、また、新聞等に転載を希望されない方は、その旨を用紙に明記してください。
- 応募された作品は、返却いたしません。

「 ひこね文芸 第43号 」 発 表 会

日時 令和 7 年 10 月 18 日(土) 午後 1 時 30 分から
会場 彦根市東地区公民館
彦根市大東町 1 － 26 (彦根駅近く) ☎24－4951
(駐車場が狭いので、そのおつもりでお出かけください。路上駐車厳禁)

《第 1 部》 文 芸 講 演 会

演 題 小説と向き合う ―読む時の愉楽 書く時の戦略―

講 師 ^{すぎ やま けい し} 杉山啓志氏

プロフィール 昭和21年生まれ 米原市在住
少年時代 伊吹山・霊仙山の陸貝（かたつむり）分布を調査
学生時代 英米文学を専攻 文学修士
大学四回生の時に高校で英語教師を始める 以後約40年間教職
45歳頃からたびたび滋賀県文学祭小説部門に応募
定年退職後 滋賀文学会の羽生道英会長からお声がけをいただいて
滋賀県文学祭小説部門の審査員を長年務める（令和 2 年に辞任）
併せて滋賀県内の高校文芸部の指導・部誌コンテストの審査・講演等

《第 2 部》 研 修 会 “学び合いましょう”

講演会后、各部門に分かれて、応募作品に対する批評・質疑応答・意見交換
など、それぞれの部門についての研修を行います。多数ご参加ください。